令和６年度　学校努力点　推進計画

【研究主題】
自律して学ぶことができる子どもの育成
～「見通す」段階での工夫を通して～

１　研究主題について

本校には、言われたことをきちんと受け止め、学習に真面目に取り組むことができる子どもが多くいる一方、試行錯誤しながら自分の力で取り組むことに自信をもてない子どもが多くいる。そのような子どもたちに、**「学習の見通しをもち、自分に合った課題や学び方を考えて計画する力」、「計画を修正しながら学習を進め、課題を乗り越える力」、「学習を通して学んだことや自分自身の成長を振り返る力」**などを身に付けさせるため、一人一人の興味・関心、学習のペースや習熟度等に応じた学習（自由進度学習）を必要に応じて取り入れる。自由進度学習を必要に応じて取り入れ、試行錯誤しながら自分の力で取り組む経験を重ねることで、自律して学ぶことができる子どもを育成したいと考えた。

令和５年９月に示された「ナゴヤ学びのコンパス」では、名古屋市の教育が育成を目指す子どもの姿を「自律して学び続ける子ども」とし、その育成のために重視したいことの一つとして、「自分に合ったペースや方法で学ぶこと」を挙げている。一人一人の興味・関心、学習のペースや習熟度等に応じた学習（自由進度学習）を必要に応じて取り入れようとする本校の学校努力点は、この「ナゴヤ学びのコンパス」の理念にも合致している。

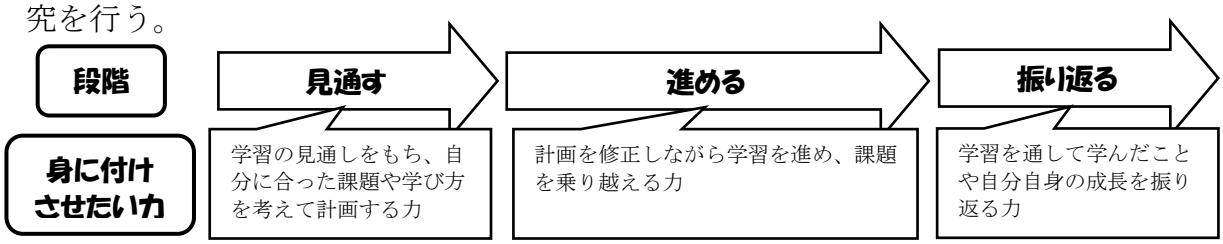
本校では、令和５年度、「一人一人が主役の学び　～自分で選び、自分で決める場を設定した学習を通して～」というテーマで、自由進度学習を取り入れた学習に取り組んだ。その研究成果を生かし、本年度は、**「学習の見通しをもち、自分に合った課題や学び方を考えて計画する力」**、つまり、一人一人が適切に学習課題を設定したり、学習の見通しをもって学習計画を立てたりすることに重点を置いて研究を行う。

２　研究の方法

⑴　研究の構想

名古屋市教育センターが示す「自由進度学習」の３つの型を、教科や単元に合わせて取り入れる。

「自由進度学習」３つの型

- 課題選択型
- 時間設定型
- 目標設定型

単元や授業を３つの段階で捉え、本年度は「見通す段階」で、**「学習の見通しをもち、自分に合った課題や学び方を考えて計画する力」**、つまり、一人一人が適切に学習課題を設定したり、学習の見通しをもって学習計画を立てたりすることに重点を置いて研究を行う。